

祝卒業19年！



この春めでたく娘共々卒業。この数字は私が東学園でお世話になった年数です。東中の先生方に私は達が辛い時、心からの励ましを頂き本当に有り難うございました。

娘も無事第一志望の高校に進学し、今迄とは違った自分を出すべく何事にも積極的に取り組んでいます。先日夏期短期留学の選考試験を受験しました。

オーストラリアの文化について知っていますか?の質問に、カンガルーを食べます。と答えたそうです。驚かれる方もいらっしゃると思いますが、あちらではカン

ガルーもワニも食べます。実は旅行に行った時好物になりつい口をついて出たようです。

英語では他に単語が浮かばなかったのかも知れません。面接官の先生は、呆れ返り結果は案の定…東の先生なら笑ってくれたよね!多分私もそう思います。

今迄東学園の素晴らしい環境のなかで優しい先生と友達にも恵まれマイペースで過ごして来た娘。人としての基本的姿勢を身につけさせて下さった多くの先生方に感謝致します。(M.S)

高等専修学校を卒業して

まだ少しひどいスツ姿で、心なしかしょんぱりと出勤する息子。仕事に慣れてつらいのかと思っ

ていましたが、どうやら楽しい行事の数々、友達とのおしゃべり、ラグビー部での充実した活動などを思い出して学校が懐かしくて仕方がないで仕事ががらく感じていたようです。でも先日、用事があり元の担任のM先生に電話をした時に、思いついて声をかけていただきました。すると、きっと在学中と同じように励まして下さったのでしょうか、息子は「ハイ、ハイ」と一生懸命頑張って聞いて見る見るうちに表情が明るくなりました。信頼している先生の力は絶大で、本当にありがとうございました。

高等専修学校の卒業式は3月10日でした。日本が翌日にあのような未曾有の震災に見舞われるとは思いもせず、祝福されて卒業式・謝恩会ができたことは、今となってみれば申し訳ないほどありがとうございました。命があることに感謝して、東学園の卒業生として恥ずかしくない生き方をしてほしいと願っています。(Y.S)

特集(東日本大震災)

【支援活動】

高等専修学校
天宮 一大先生

3月下旬、毎年の夏に本校ラグビー部がお世話になっている釜石のことが心配で、知人と共に被災地となった釜石を訪れました。帰京後、震災直後から思っていたピンポイントの支援活動を開始しました。まずは、部の掲示板や私のブログを通じて、釜石に向けて、ピンポイント支援の協力を呼びかけました。(政府などの支援金活動を前提として)これは、実際に被災地を見て、避難所での物資配布が滞っている現状から、必要な物がすぐに手に渡ることが大切だと痛感したので現地の方々と連絡を取り、リクエストに応える支援を試みたのです。

その結果、多数の物資や義援金が集まり、義援金からは自転車30台等を購入して全て釜石商工におくりました。その量は4tトラック2台分となり無事に現地到着して有意義に使用されているそうです。未曾有の大災害ではありますが、今だからこそ子どもたちに教えられることがあり、心の絆の再確認ができると思っています。今後も支援を継続します。

【ボランティア活動】

岩崎 雅大
(2000年度 武蔵野東中学校卒)

私は、4月の下旬より2週間、福島県会津若松市にてボランティアに参加しました。あの衝撃的な地震が起きた日、私はカナダで語学留学でした。日本に帰国後、日本人として今何をすべきか考え情報を集めていた所、Niceというボランティア団体に巡り合い福島に行きました。

活動は、主に避難所である体育館やホテルに行き、子どもたちと思いつき遊ぶことで

した。現在、避難所という環境下では、遊べない子どもたちがほとんどです。遊ぶ事で子どもたちのストレス解消、またそのご家族の方たちも自由な時間ができる為、非常に有意義な活動でした。活動中は、多くの子どもと接する為、東学園の混合教育で培った思いやりの精神や、多様性の受け入れ、福祉の心は、現地の活動でも大きく力を發揮したと感じています。

また、ボランティア参加を決めたのは父の影響が大きかったです。長年に渡り、地域貢献や東学園を通じて多くの活動をしてきた父を見て、私もジュニアとして頑張る気になりました。

サマーキャンプ かき氷隊

募集します



今年も『恒例の「CDE組サマーキャンプ」のかき氷隊員』を募集いたします!!! サマーキャンプはお盆明けの8月16日~18日の日程で、日光で行されます。昨年は、10名ほどの有志の参加がありました。数年前にAB組を卒業されたOBのご夫妻や、お子様と一緒に参加されたご家族もいらっしゃいました。かき氷隊は、キャンプ中に行われるハイキングの中継、終点地点にて、頑張って歩いてくる生徒達や先生方に「つめた~いかき氷」を振る舞います。「つめた~い美味しい!」と満面の笑顔(^o^)。とっても嬉しい瞬間です。「かき氷隊」は8月16日~17日を予定しています。もちろん17日の日帰りも歓迎です!ご興味のある方は、各園校の先生もしくは下記連絡先までご一報ください。

連絡先:中3D&小6A大槻 t.otsuki@anshinlife-lp.jp

●編集後記

新学期が始まり、編集も新メンバーも加えスタートしました。

震災で改めて日本全体をはじめ家族の絆の大切さや強さを感じることとなりました。

絆とは一本一本の糸で紡がれている太い綱なのかもしれません。一本の糸の先は皆さんに繋がっており、綱の名前は「日本」であったり「家族」であったります。そして、この連合後援会だよりをご覧になっている皆さんは「武蔵野東」という綱の糸も持っております。

これからもそれぞれの糸を強く太くし、この絆を未来に繋げていきましょう。(M)

●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	小澤 恵美子	森本 賴子
中学校	飯盛 久美子	野内 陽子
小学校	木幡 繾子	高橋 章子
幼稚園	天野 英理	太田 瑞恵
高等専修	桑原 厚	
中学校	齋藤 良	大槻 敬
小学校	家住 隆士	
	青柳 博行	黒澤 陽治
	松井 幹和	



武蔵野東学園
連合後援会だより

発行:武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会 新48号 平成23年5月26日発行

武蔵野東学園 連合後援会だより



こんにちは!

みなさんこんにちは、「連合後援会だより」です。早いもので新年度がはじまり2ヶ月が経ちました、新入園、新入学したお子様も少しづつ学園生活に慣れてきたころだと思います。今号は、東日本大震災をうけ改めて人と人とのつながりの大切さを痛感させられたことで「絆」をテーマとしました。それでは、今年度第一号をどうぞ。(I)

このたびは、3月11日に発生しました東日本大震災におきまして、被害に遭われました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

■平成23年度連合後援会総会報告

去る4月19日(火)北原記念館スカラーホールにて、各園校及びむらさき会の会長、役員、後援会会員、保護者、及び学園側からは理事長以下各園校の校長、教頭職他の出席により、連合後援会総会並びにむらさき会総会が開催されました。

本会では、①平成22年度の事業・会計報告、承認 ②平成23年度各

園校会長、五役選出・承認 ③平成23年度の事業目標・会計予算、承認④各園校役員の紹介他が行われました。

会長、役員代表の承認をはじめ、全ての議事が滞りなく進み、承認されましたことをご報告いたします。

本紙では、③平成23年度の事業目標についてご紹介いたします。

【連合後援会】

- ①創立の精神を継承発展させるための活動
- ・学園創立50周年記念事業への協力
- ②ボストン東スクールとの交流活動
- ③学園後援組織の拡大充実

【幼稚園】

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②子どもを中心とした明るく温かい幼稚園づくりの協力
- ③保護者の趣味や特技を生かした活動の推進
- ④地域と和やかな関係づくりへの推進
- ⑤MOTTAINA運動の推進

【小学校】

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②『Joy Day』を含め、会員相互の輪を広げる活動の推進
- ③MOTTAINA運動の推進

【中学校】

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②生命科講演、職業観育成のための後援
- ③私学助成活動への協力

【高等専修学校】

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②学校行事への保護者の積極的な参加と教育への協力
- ③家庭での親と子の対話の充実

【むらさき会】

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②「すべての会員の子弟は我が子である」を合言葉に会運営の推進
- ③会員相互の理解と親睦を兼ねた行事の開催
 - ・むらさき親子運動会 5月28日(土)
 - ・保護者会慰労会 5月28日(土)
 - ・保護者会新年会 平成24年1月21日(土)
- ④「可能性をひろげて」の編集発行
- ⑤むらさきOB会との連携(地域ネットワーク等)



挨拶会長

幼稚園後援会 会長 中村 直久

この春から幼稚園の後援会長を務めさせていただきます中村と申します。幼稚園には息子(年長)と娘(年少)がお世話になっております。昨年は父親の集まりであるLe't'sや幼稚園の行事を通して、子どもだけでなく親の私も大変充実した日々を送らせていただきました。行事に参加するたびに園児たちのかわいい笑顔に元気をもらい、また半世紀近くにおよぶ園と後援会のつながり(絆)の深さに感銘を受けました。この絆は幼稚園の活動を応援したいという保護者の方々の熱い思いからくるものであり、今後もその精神を引き継いでまいります。微力ではありますが今年は後援会長としてお父様方との親交を更に深め、後援会活動の中心であるお母さま方をサポートさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

小学校後援会 会長 吉田 行郷

本年度、小学校の後援会長を務めさせていただきます吉田です。早いもので、息子は来年の春、小学校を卒業ですし、娘も4年生といよいよ

高学年の仲間入りです。親子共々よろしくお願いします。さて、震災後、何か人と人との「絆」を意識する機会が増えています。私も、震災直後の重たい精神状態を、家族の絆はもちろんのこと、旧友同士や子どもの父親同士の絆があったお陰で、何とか乗り切ることができました。子どもたちも成長する度に、親との絆に兄弟が加わり家族の絆になって、学校でも、先生との絆から始まって、クラスメートとの絆、先輩や後輩との絆へと、どんどん広がってきますね。本年度も、Joy Dayや学園祭、盆踊りでの保護者活動を通じて、子どもたちが周囲との絆を増やし、太くしていくのを皆さんと一緒に楽しくサポートできればいいなと思っています。

小学校後援会 副会長 有田 誠



護者達に心を寄せていることに、大変嬉しく感じました。この学園の大きな特徴は何と言っても『混合』教育です。これは子どもたちの知育だけではなく、我々保護者にとっても大切なことです。学年、世代、障がいの有無を超えて相手のことを気にかけ、思いを巡らせ、場合によっては手助けを…。こんなことを改めて気づかせてくれるものだと思います。後援会皆さんの力を合わせて、次の時代を担う子どもたちのために活動することはもちろんですが、自分達自身もますます輝いていきましょう!

高等専修学校後援会 会長・ むらさき会 会長 臼井 周平



本年度、高等専修学校後援会・むらさき会会長を兼務させて顶きます臼井です。長男は高1、長女は中1でお世話になっています。皆様、よろしくお願い致します。編集長から「絆」について「2つの立場で書いて」とのご依頼がありましたので、少し長くて恐縮ですが、しばしお付き合いください。

まずは、高専としての「絆」について。私は高校の頃に暗唱した、方丈記の「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」という言葉が好きです。無常観を表しているこのフレーズは「絆」といった人々との繋がりも意味していると解釈しています。東学園での出逢いは、それぞれ「ゆく河の流れ」の1シーンを構成し、この積み重ねが47年という歴史を刻んでいます。その東学園での生活も残すところ3年ですが、今は、方丈記を暗唱した頃の自分と同世代の皆さんと向き合える喜びを感じつつ、新たな絆が繋がっていくことに期待を膨らませています。

続けて、むらさきとしての「絆」について。長男が東中を卒業する1週間前、先生と生徒の皆さんには、スキー教室の帰り道に震災に遭遇しました。雷ですら怖がる息子が、狭く暗いバスの中での宿泊に、如何に耐え得たのか?暫くして、その答えを1枚の写真に見出しました。息子とツーショットで映るN君の姿です。息子はあまり話をしないのですが、宿泊でよく同じ部屋になったN君、そして、たくさんの友達がサポートしてくださったのだと気付きました。これまで、笑顔で学校に通い続けてくれたのは、東学園で出逢った皆さんとの絆があったからです。この場をお借りして…東中を卒業したN君、そして皆さんへ。“今まで、お礼が言えずすみません。ありがとうございます”

東学園に入園入学して



卒園卒業して 東学園卒業して

武蔵野東幼稚園に入園して

長男が東幼稚園を卒園して早くも一年。今度は娘が入園です。あの楽しかった幼稚園生活が再び始まると思うと、母親の方が期待に胸が高鳴ってしまいます(笑) そうは言ってもこの前までは赤ちゃんと、いつも何処へ行くにも一緒にくつっていた娘。やはり送り出すことに不安半分でしたが、「子どもは子どもの社会で育つのですから安心して」との園長先生のお言葉に背中を押して頂き、そしていつも温かくお迎えくださる先生方に安心感を抱き、娘も自然に私の手を離してバスに乗って行ってしまいました。私たちを家族のように大切にしてくださる東幼稚園にまたお世話になれる事を心から嬉しく思います。

入園直前に震災という大きな出来事があり、娘達のような小さなお子さんが今も辛い生活を強いられていることを思うと胸が痛みます。今私達にできることは、幸いにも幼稚園生活をスタートすることができた子どもたちが、友達や先生と思い出過ぎ幼稚園生活を送れるよう、できる協力を全うすることだと思います。(I)

高等専修学校に入学して

東学園にお世話になって、三回目の入学式。指先までピンと伸ばし緊張気味に入場してきた息子。「ついに、高専だ!」と、私の気持ちがギュッと引き締まった瞬間でした。

あれから一ヶ月。ぎこちなかつたネクタイの結び方は、いつの間にかスムーズに… 友達や先輩、先生方との心和むやりとりも日に増えて… そして、何よりも大変イキイキして… 本人なりに気合が入っているのでしょう。これも全て、温かく導いて下さっている先生方、優しく支えてくれている仲間、先輩方のお陰と思っております。

これから三年間、沢山の経験をしていく事でしょう。その中から、何かを学び、社会で生きていく力の力を身につけていってほしい。そして、最後の学園生活が今まで以上に、充実したものになる様に願って止みません。(M)

武蔵野東中学校に入学して

一回り、いや二回り以上も大きな制服が、同じ色形をした小さな制服の横に掛けられて、4月に東小学校2年生に進級した次男に続き、長男は念願の東中学校に入学が叶うことができました。二人の息子が共に東学園で学ぶことができる喜びはもちろん、これから家族全員で関わる様々なイベントが倍増するかと思うと胸躍る気持ちでいっぱいです。

思い起せばこの数年、いつも我が家では東学園のことが話題になっていました。そんな環境の中で長男は自ら東中を志望し受験することになりました。3年後、自分の将来とそこに繋がる進路を見出せているように充実した中学生生活を送ってもらいたいと思います。

5月に入り、初めてであった電車通学にも慣れ、部活動も決まり、日々の出来事を楽しそうに話してくれます。制服姿もだいぶん板に付いてきたためか、少しずつではあるが逞しくなってきました。親として、これから3年間を力いっぱいバックアップしていこうと思っています。(I)

高等専修学校に入学して

東学園にお世話になって、三回目の入学式。指先までピンと伸ばし緊張気味に入場してきた息子。「ついに、高専だ!」と、私の気持ちがギュッと引き締まった瞬間でした。

あれから一ヶ月。ぎこちなかつたネクタイの結び方は、いつの間にかスムーズに… 友達や先輩、先生方との心和むやりとりも日に増えて… そして、何よりも大変イキイキして… 本人なりに気合が入っているのでしょう。これも全て、温かく導いて下さっている先生方、優しく支えてくれている仲間、先輩方のお陰と思っております。

これから三年間、沢山の経験をしていく事でしょう。その中から、何かを学び、社会で生きていく力の力を身につけていってほしい。そして、最後の学園生活が今まで以上に、充実したものになる様に願って止みません。(M)



男の子にしては、少し内気でお友達と仲良く元気に遊ぶことができるか心配だった入園式から二年が経ち、卒園式で大きく成長した息子の姿みて、幼稚園での数々の行事が思い出されました。

まず入園してすぐの運動会、幼稚園でのお泊まり保育、それから盆踊り大会や秋にはお芋掘り、冬には発表会。また、年長になると山中湖でのお泊まり保育など、最近のことのように思い出されました。そして、これらの行事を重ねるごとに成長した息子の姿をみることができたように思います。

武蔵野東幼稚園では、このように多くの行事を通じて、先生方の熱心な指導のもと、元気いっぱいに充実した幼稚園生活を送ることができます。息子にとっても一生の思い出になるのではないかと思います。

そして、多くのお友達ができたこと、明るく素晴らしい先生方に出会えたこと、充実した環境や多くの行事を通じて成長できたことは、子どもにとって、親にとっても、良かったと思います。

武蔵野東幼稚園のような素晴らしい幼稚園に出会い、そして卒園できたことは、とても幸せだと思います。(S)

武蔵野東小学校を卒業して

長女が今年の3月に武蔵野東小学校を笑顔で卒業しました。

3月11日に発生した東日本大震災に被災された全ての皆様に深く哀悼の意を申し上げます。震災の影響で直前まで卒業式の開催が危ぶまれていましたが、先生方のご尽力で卒業式が開催でき娘の親として感謝しています。

6年前の春、入学した時には体も小さく、ランドセルがバスに乗って学校に行くような毎日でした。入学直後の宿泊学習、団扇を背中に指して盆踊り、授業ばかりでなく様々な行事を通して毎日充実した6年間を送っていました。

娘が笑顔で卒業できたのは、ひとえに先生方の熱く、深い愛情の賜物です。細やかな人を思いやる気持ちや情熱を持って一つのことをやり遂げる意志は愛情豊かな先生方や東っ子の友達と同じ時間を使って育まれてきたと信じています。本当にありがとうございました。(T)